

41団体59人が参加

令和8年5月19日（火）14時00分から16時00分まで、磐田市民文化会館「かたりあ」スタジオRにおいて、第7回の集会を開催しました。

当日は、プラットフォーム会員であるスポーツチームや企業、行政関係者などに加え、登壇団体の取り組みに関心を持つ企業や個人など、41団体59人が集まりました。

いわたスポーツプラットフォームのふりかえりとこれから

会の冒頭では、磐田市スポーツのまち推進課よりこれまでの取組概要と今後の取組について説明しました。

また、草田市長から「スポーツ」を切り口とした活躍が期待される磐田市地域おこし協力隊の隊員を紹介し、プラットフォームから生まれる共創への期待などを語り、今後の取組への期待が高まりました。

登壇者発表

多くの会員から「プラットフォームでどのような取組ができるのかわからない」という昨年度のアンケートからもご意見をいただき、少しでも参考となり、チャレンジしていきたいと思っただけのきっかけなることを目的に、いわたスポーツプラットフォーム会員が登壇者となり、共創により取組んでいる事業や解決したい課題と提案などを発表しました。

<発表団体及び内容>

- ① 静岡ブルーレヴズ株式会社
「スポーツを核としたまちづくりに資するテクノロジー活用支援事業の成果発表と今後の展望」
- ② 静岡産業大学スポーツ振興部
「大学スポーツ資源を活かした地域振興モデルの構築の進捗状況報告」
- ③ 一般社団法人 日本e-walk協会
「ゴムの力で筋肉を補う歩行筋サポートギア「futto」を活用した社会課題の解決実証に向けて提案」

意見交換会

発表後は、登壇者ごとに設けたブースで参加者との意見交換やフリースペースを活用した意見交換会を実施しました。

参加者は関心のある団体のブースを自由に訪問し、発表内容をさらに深掘りしたり、自社の持つリソースと連携できる可能性を探るなど、対話が行われました。

また、フリースペースでは参加者同士で対話がたくさん生まれ、新たな人脈形成など「人とつながる」貴重な機会となりました。

作成：磐田市

